

**本当に飯森に建つてもいいですか？**

その1) この「白馬の美しい空気」をいつまでも・・・  
**守れるのは私たち住民です！**

先人が大切に守り、今に伝えてくれたここならではの美しい自然と環境  
それを子供たちにも残してあげたい・・・、そうは思いませんか？

燃やすごみの量が、今の焼却場の



になります。

広域連合は、「排気ガスは現状より低減する」と繰り返し説明していますが、山麓センターの実測値と比較すると、大幅に増えることとなります。問題なのは、実際に排出される「総量」です。

**規制されている排ガス量の比較**

排ガス成分	倍率 (A)/(B)	既設焼却設備 実績排出量 (A)	計画焼却設備 基準値排出量 (B)
ばいじん	13倍以上	320 kg以下	4,170 kg
いおう酸化物	520倍以上	32 m <sup>3</sup> N以下	16,684 m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	7.9倍	3,970 m <sup>3</sup> N	31,284 m <sup>3</sup> N
塩化水素	130倍	320 m <sup>3</sup> N	41,712 m <sup>3</sup> N
ダイオキシン類	0.63倍	33 mg	21 mg

4トンも空気中に！  
増える可能性が！  
垂鉛・水銀・カドミウムなど、これ以外にも、

規制されていない **有害物質が...**

プラスチックや塗料・インクなど、一見、無害と思われるものでも、いろいろ雑多な種類のを同時に高温で燃やすことで、炉の中で化学反応を起こし、全く別の有害な物質が発生します。また、「水俣病」で有名で最近では自閉症の原因ではないかと言われている【水銀】。【イタイタイ病】で知られている【カドミウム】、そして垂鉛などは高温で気化し、有害とされつつも **規制の対象から外されている物質** です。

こういったものは空気中から取り込むため、病気との関係を明確にするのは極めて困難です。ご存知のように、水俣病やイタイタイ病は長年にわたり裁判で争うことになりました。そういった事例でもわかるように、もし今回、この大型焼却炉周辺で体調不良や胎児になんらかの影響があったとしても、解決されるにはかなりの時間と労力を費やすということは明らかです。(危険回避のため、世界の主流は「燃やさないごみ処理」に移行中)

もう一つ明らかなことは、そういう**有害物質が必ず出る**ということ。また今回の大型施設では規制されている物質の量でさえ確実に増えるということ。そして、そういった物質に24時間さらされ、知らないうちに汚染されてしまうということです。

**<含まれる排気ガス>**

- ・有害重金属…水銀・カドミウム・垂鉛など
- ・粒子状物質…PM または SPM
- ・残留有機汚染物質…POPs
- ・その他意図しない化学反応で発生する未知の物質



ダイオキシン以外は

**こんなに増えます！**

※ダイオキシンは、ごみ分別をしっかりとれば減らすことができます。

9月予定??

アンケート(住民投票)実施の前に **もう一度ご検討下さい。**

**<これからのニュースの予告>**

- ◎◎ その1) この「白馬の美しい空気」をいつまでも！
- その2) 村ごと自然公園：そのど真ん中に巨大ゴミ処理場が！(7月下旬)
- その3) ほんとうに活断層はだいじょうぶ？(8月上旬)
- その4) やれます！ごみ減量、できます！自然にやさしいゴミ施設(8月下旬)
- その5) ごみ処理場計画：知恵を出し合って話し合える場を！(9月上旬)

**再検討委員会をつくらせて下さい！**

行政・住民・専門家、話し合える「場」をつくらせて

1. 現施設を大切に使う
2. ごみの分別・減量化
3. この地にあった施設をつくる

などを話し合うのが、「最善の策」ではないでしょうか？

# こんな話、聞いたことありませんか?!

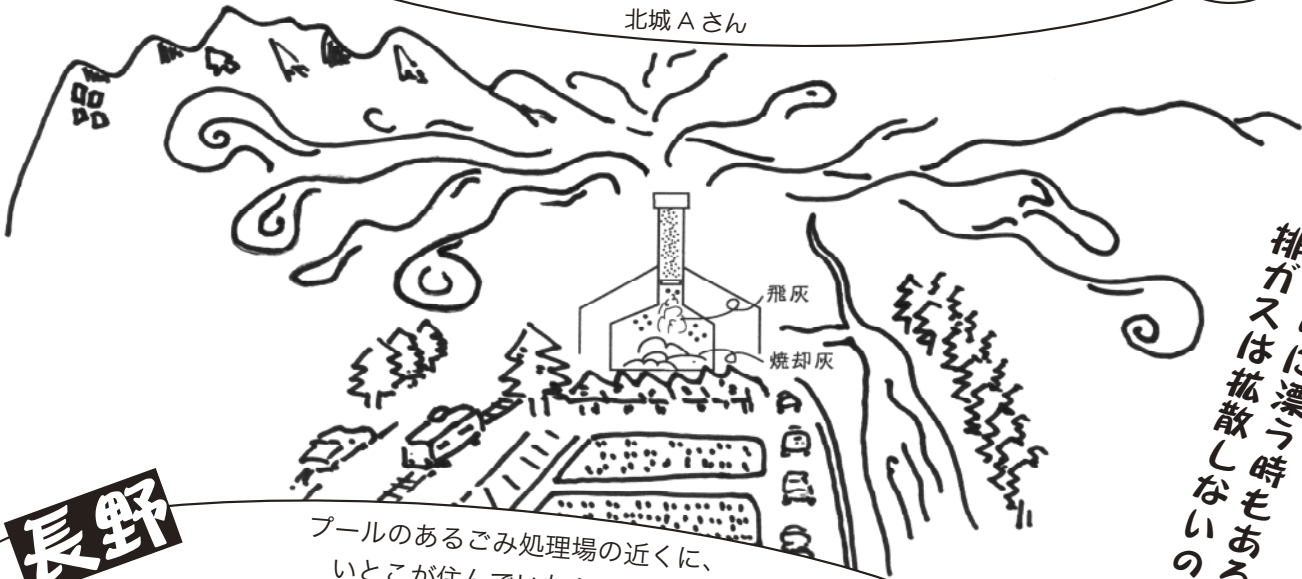
こんな狭い谷間に  
本当に大丈夫!?

**松本**

島内の処理場の近くに松電のバス停があるんですよ。  
そこに夜、子供を迎えに行ったら、

すごいゴミの匂いがして臭かった…。

北城 Aさん



野焼きをしても  
その辺りに漂う時も  
排ガスは拡散しながらある。

**長野**

プールのあるゴミ処理場の近くに、  
いところが住んでいたんだけど、

ぜんそくになって大変だった。  
やっぱり何らかの影響はあったんじゃないかな?

神城 Bさん



ゴミ焼却場は最新といえども、いろいろな問題を起こしています。

そんな問題を **この講演会で、**  
**「皆さん自身の耳」**でお確かめください。



## 講演会のご案内

### ゴミ問題の今!!

# 「ゴミ焼却施設の何が問題か」

講師：ゴミ弁連会長 **梶山 正三** 弁護士

日時 7月**23**日(水) **19**時~**21**時  
(18:30 開場)

場所 白馬村ウイング 21  
参加費 無料(カンパ歓迎します!)  
主催 ごみ連協

要約筆記  
有ります



### プロフィール

1944	東京生まれ。	1993~96	埼玉大学非常勤講師 (環境政策論)	2007~ 現在	町田市最終処分場 閉鎖等検討委員会委員長
1972	東京工業大学大学院 理学博士	1995~2000	関東弁護士会連合会公害対策 環境保全委員会委員長		
1972~84	東京都公害研究所	2002~07	長野県条例アドバイザー座長		
1987	弁護士登録。	2002~08	長野県公共事業評価監視委員会委員		
		2006~08	滋賀県 RD 最終処分場対策委員会委員		

### ゴミ弁連とは

「たたかう住民とともにゴミ問題の解決を  
めざす 100 人の弁護士の連絡会」の通称。



### 白馬新ゴミ処理施設を考える連絡協議会ニュース

発行：白馬新ゴミ処理施設を考える連絡協議会 (会長：宮田温巳)  
白馬村北城八方口5897-1 (たきみや) <事務局> TEL：0261-72-2527 FAX：0261-72-7465

### 皆様の一層のご支援をお願いいたします!

カンパ振込先 ●八十二銀行白馬支店/普通口座：137464  
名義：ハクバゴミモンダイカンパ ●ゆうちょ銀行/口座記号番号  
00520-2-83674/名義：白馬新ゴミ処理施設を考える連絡協議会